

presented by
Aotsukitei

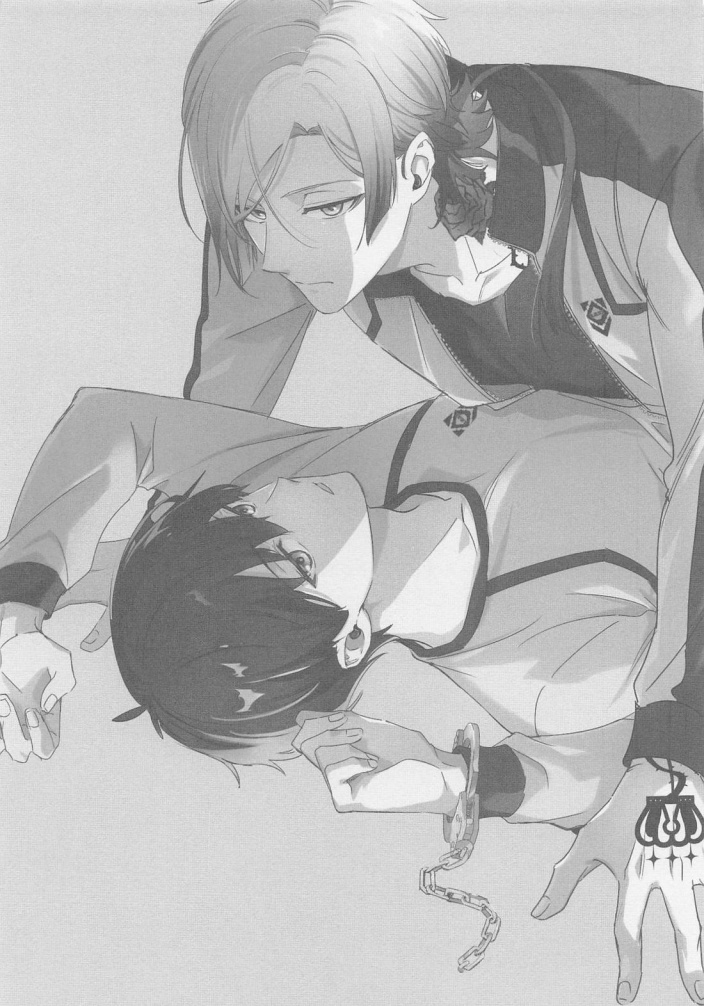
2025.05.03

R18

【ブルースカース】
Kaiser × ISGI

BLUELOCK
unofficial fanbook
#17







- フランス戦後監獄軸
- 33巻までの内容で描いています、
ネオエゴ終了後カイザー帰国設定
- カイ→→潔
- 拘束・無理矢理・断面図描写があります



フィールドの上で
俺の才能を突きつけて
無様に打ちのめして

絶望に染まる顔が
見えたかった



世一に負けた

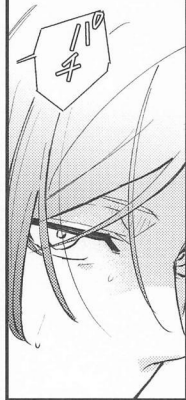


負けたという
ことは相手の中に
自分を残せないと
いうことだ



あいつに負けた
事実が疼く

勝つことで相手に
傷を残し自分という
存在を刻み込んできた



なかなか寝れなくて
散歩したら
洗面所から
苦しそうな声
聞こえたから…

って
話逸らすなよ

いや
見たくて
見たわけ
じゃねえけど

は…
覗きか？

別に…
ただの癖だ

意味なんか
ねえ

す。

ゴホ
ゴホ



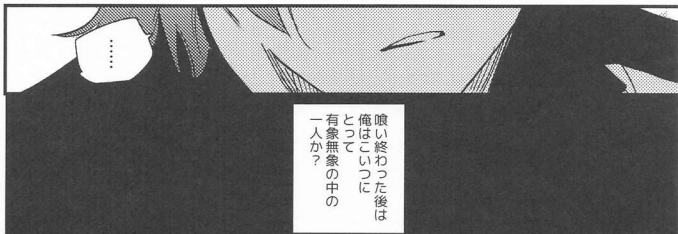
…大丈夫かよ



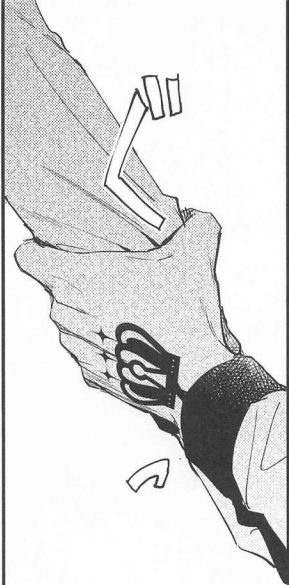
モブ共に向ける
ただの潔世一の
顔だ



「グレート」ピッチ上の
支配者然とした
表情ではない



喰い終わった後は
俺はこいつに
とって
有象無象の中の
一人か？



そんな
クソ結末チ

望んじゃ
いねえんだよ









…あれ…

俺カイザーの
部屋に来て…

意外と楽しく
サッカー
談義して

それから
カイザーに
貰ったジュース
飲んで…





俺相手に
油断しちゃ
駄目だろう？
世一

何かされるとは
思わなかった
のか？



お目覚めか？

お姫様



暴言も吐いたし
試合の最後
思いつきり
煽ってやったし

一発殴られるくらい
するかもとは
思ってたけど
こうくるとは正直
想定外だったな



俺のこと辱めて
やろうって？
クソだせえ

サッカーの借りは
サッカーで返せよ

お前はこんな
ことして満足する
ようなやつ
じゃねえだろ

ああ
そうだな

敗因は全て
俺にある

グニ

負けた腹いせが
したいわけ
じゃない

ただお前に疵を
残してやりたい
だけだ

ぬくぬくと平和に
生きてきた世一くん
には知る由も無い
かもしれねえが

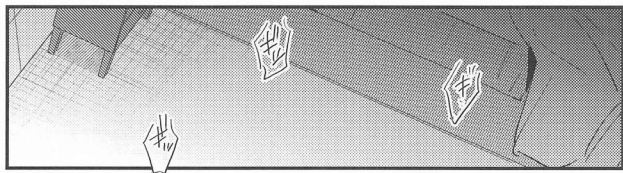
殴られた傷
なんざすぐ
癒えるんだよ

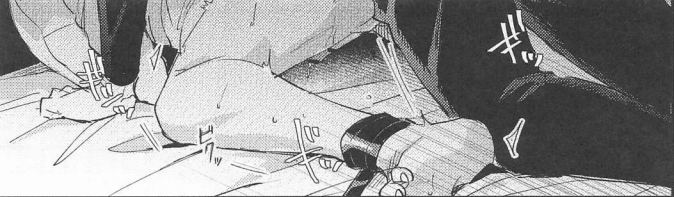
だから
そんなのじゃ
意味がない





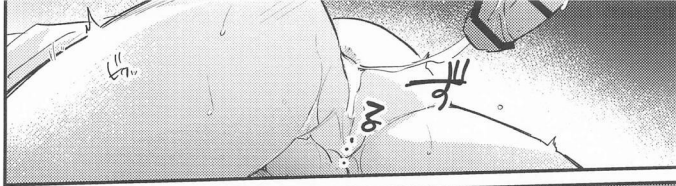
いつまでその
反抗的な目が
できるか我慢比べと
いこうじゃねえか















もうあまり
出てねえな

連続で
イカさんの
キツイだろ？



ほら可愛く
おねだり
してみろよ



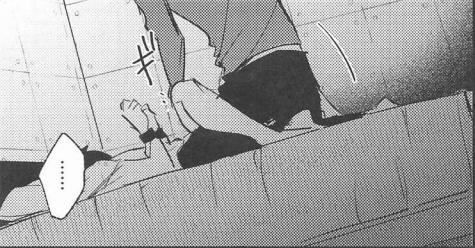
そしたら
優しく
してやる

…っ





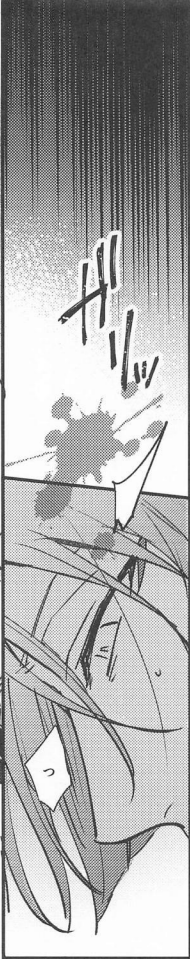




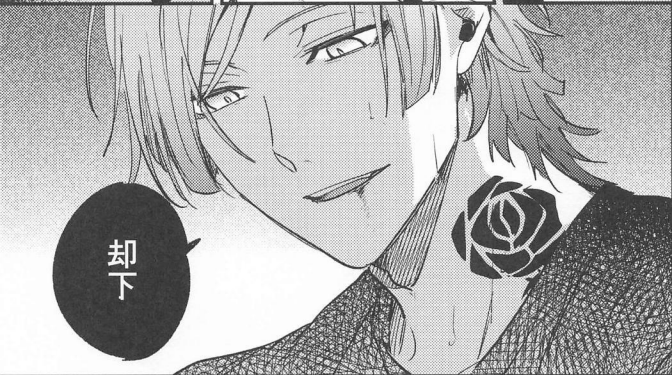
…なんてな

冗談に決まってる
だろマジでやる
つもりだった？

おねだりすれば
考えてやるよ









さっきまで処女
だったのに
潮まで
吹いちゃって

可哀想に

あーあ





c

...クッ...





イン

こいつの前だと
何もかも
上手いかない

気づかなくて
いじわるで
笑っちゃった



俺が
お前に疵を残して
やるはず
だったのに



…クソ世二

ギスギス気味カイ潔、フランス戦ラストの2人を
見て描きたくなったので今回ラブラブカイ潔を封印して
描きました。ラブラブカイ潔は勿論大好きなんですが同じくらい
無理矢理気味カイ潔も好きのため…
魔王世一くんを性的に泣かせたい欲が止められませんでした。
この後書きを書いている時点でカイザーが帰国するのか、
世一とカイザーの会話や関係性の変化など描かれるのかどうなのか
分からないのでソワソワした毎日過ごしています、
世一もカイザーの存在は進化する中で非常に大きいもの
だったと思うのでこれから新しい男…ライバルに出会ってもカイザーの
ことは忘れないでほしい…カイザーにだけクソデカ感情を残していかないで…
ネオエゴついに終わってしまいましたがこれからもカイ潔を推していきます。
読んでくださりありがとうございました！

発行日:2025.05.03
発行元:蒼月亭/蒼月蓮
pixiv ID:33934
印刷:(株)栄光様
twitter/X:@blreen

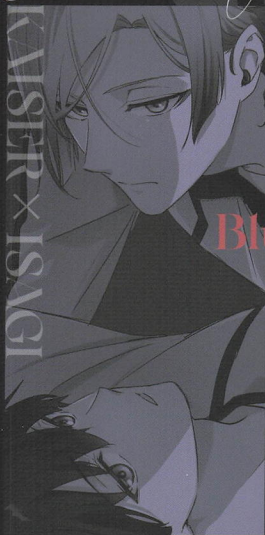
Mail:allove.with18@hotmail.co.jp
表紙デザイン:知吾様(@itsukinoaka)

※無断転載、オークション・フリマアプリ等への出品はご遠慮ください。

Wavebox
(感想等頂けると喜びます！)



Blue Scars



Blue Scars

BLUELOCK
UNOFFICIAL
FANBOOK

#17

presented by
Aotsukitei